

「さやまの環境」4ページの地図を参考にしてください

池原 昭治の

さやまのふるさと

第106話

としたりがわ

不老川の小さな春みつた



飛び立ちました。やがて山王橋です。庚申さまの石像が祀られています。橋の下にはシラサギが一羽。また、セキレイが忙しそうに川面を飛んでいます。山王中学校前の「とらぎ公園」には、花壇やあずまやもあり、ホッとする休憩場所です。ここで一息入れますと、権現橋までは、ほんの五分ほどでしょうか。途中、緋鯉が悠々と泳いでいました。

不老川がさらにきれいになって動物や植物が増え、ホタルが飛び交い、子どもが泳げるようになれば、もっと多くの人々が憩いの場として集うことでしょう。ぜひ一度、春の一日、不老川を訪ねてみてください。

北入曾を流れる不老川を七曲井から権現橋までのんびりと歩きました。

七曲井にあります観音堂が新しくなり、屋根が金色に輝きひととき目立っています。そこから鎌倉街道を渡りますと、道はたに小さな祠があり、水神様と稲荷様が祀られています。ここは、地元では歯痛止めの神様といわれ、たくさんの方が奉納されています。野々宮神社を過ぎますと不老川の土手に出ます。そこには春の野草、オオイヌノフグリがにぎやかに咲いています。足音に驚いたカルガモがバツと



わかるかな？

今月の写真クイズ



写真は、今月の広報さやまの中に掲載してある写真の一部を拡大したものです。何ページの何の写真でしょうか？

解答をお寄せいただいた正解者の中から、抽選で5名の方に記念品を差し上げます。官製はがきで、広報課宛お送りください。

締め切り3月31日(当日消印有効)



【2月10日号の写真クイズの答え】

9ページ、「ものづくり人づくり 狭山の産業」の写真でした。

表紙の写真

2月28日、柏原公民館で「こどもクッキー教室」が開催され、15名の小学生が参加しました。先生は地域の洋菓子屋さん。本格的なクッキー作りをお菓子づくりのプロに教えてもらい、甘い香りとにぎやかな雰囲気ながらも真剣な眼差しで取り組みました。みんなで焼きあげた3種類のクッキーは、柏苑の入居者の方々にもプレゼント。手遊びやゲーム、お手玉などでふれあいのひとときを過ごしました。



埼玉県生態系保護協会狭山支部
高橋昇さん(中新田)

カントウタンポポ (キク科タンポポ属)

別名アズマタンポポ。3月～5月に、直径4cmほどの黄色い花を咲かせる多年草です。花茎の高さは20cmくらい、葉の幅は2.5～5cmのギザギザ状で、長さは約20cmになります。

一輪に見える花は約200もの小さな花の集まりで、日が昇ると開きますが、冷え込みから花を守るため夕方には閉じます。種子は「綿毛」と呼ばれ、風に乗って遠くに運ばれます。着地して、条件が整えば約1週間で発芽します。カントウタンポポは在来種で、関東地方から中部地方にかけて分布しますが、1株だけでは受粉できないことから群落を作ることが必要です。そのため都市部では見かけることが少なくなり、最近では帰化種のセイヨウタンポポが増えてきました。